

# 早稲田大学レジリエンス研究所・都市環境イノベーション研究会

## 第 32 回ニッセイ財団 環境問題助成研究ワークショップ 「地域から創る社会イノベーションと持続可能な社会(SDGs)」

主催：早稲田大学レジリエンス研究所(WRRI)・都市環境イノベーション研究会、日本生命財団

<http://www.waseda.jp/prj-matsuoka311/researchcontent.html>

共催：早稲田大学総合研究機構、早稲田大学アジア太平洋研究センター(WIAPS)(予)、早稲田大学環境総合研究センター

後援：経済産業省(予)

### 1. 趣旨

本ワークショップは、日本生命財団・学際的総合研究助成「環境イノベーションの社会的受容性と持続可能な都市の形成」(研究代表者：早稲田大学教授・松岡俊二、2015年10月～2017年9月)の学術研究成果発表の場である。

2年間の学際的研究プロジェクトを通して、低炭素社会(長野県飯田市)、資源循環型社会(静岡県掛川市)、自然共生社会(兵庫県豊岡市)の構築を通じた3都市の社会実験を、「社会的受容性と協働ガバナンス」の観点から分析・評価し、日本の地域における持続可能な社会形成のための社会イノベーションの共創・創発と普及のメカニズムを明らかにした。

本ワークショップでは上記の研究成果を発展させ、新たな公民協働アプローチとして近年注目を集めているドイツのシュタットベルケや福島イノベーションコースト構想等による新たな産業の創出に取り組む福島県などにも着目し、SDGsの具体化に向けた社会イノベーションと地方創生に関して参加者も交えて議論を行う。

### 2. 日時・会場

日時：2018年2月4日(日) 13:00～17:00

会場：早稲田大学・早稲田キャンパス・大隈記念講堂小講堂 <https://www.waseda.jp/top/access/waseda-campus>

### 3. プログラム案

13:00～13:10	開会挨拶 甲斐啓史(日本生命財団理事長)
13:10～13:40	基調講演「持続可能な地方社会の創り方:地方都市と社会イノベーション」 研究代表 松岡俊二(早稲田大学国際学術院アジア太平洋研究科・教授)
13:40～15:10	第I部「3都市の事例からみた『社会的受容性と協働ガバナンス』がうみだす社会イノベーション」 コーディネーター：田中勝也(滋賀大学環境総合研究センター・教授)
(13:45～14:00)	報告1:「飯田市の社会イノベーションと今後の展望」 渡邊敏康(株式会社NTTデータ経営研究所社会システムデザインユニット・シニアマネージャー) 升本 潔(青山学院大学地球社会共生学部・教授) 中村 洋(一般財団法人地球・人間環境フォーラム企画調査部・研究員)
(14:00～14:15)	報告2:「掛川市の社会イノベーションと今後の展望」 松本礼史(日本大学生物資源科学部・教授) 鈴木政史(上智大学地球環境学研究所・教授) 島田 剛(静岡県立大学国際関係学研究所・准教授)
(14:15～14:30)	報告3:「豊岡市の社会イノベーションと今後の展望」 黒川哲志(早稲田大学社会科学総合学術院・教授) 岩田優子(早稲田大学アジア太平洋研究科・博士後期課程)
(14:30～15:10)	<討論> 討論者1: 白井信雄(法政大学サステナビリティ実践知研究機構・教授) 討論者2: 田崎智宏(国立環境研究所資源循環・廃棄物研究センター循環型社会システム研究室・室長) 討論者3: 大手信人(京都大学大学院情報学研究所社会情報学専攻生物圏情報学講座・教授) 討論者4: 古木二郎(株式会社三菱総合研究所環境・エネルギー事業本部サステナビリティグループ・主席研究員)
15:10～15:25	休憩
15:25～16:55	第II部「パネルディスカッション:社会イノベーションと地方創生」 コーディネーター：松岡俊二(早稲田大学国際学術院アジア太平洋研究科・教授) パネリスト： 黒田浩司(経済産業省大臣官房福島復興推進グループ福島新産業・雇用創出推進室・室長)(予) 小林敏昭(地域ぐるみ環境ISO研究会・事務局) 原 亮弘(おひさま進歩エネルギー株式会社・代表取締役) 平尾雅彦(東京大学工学系研究科化学システム工学専攻・教授) 平沼 光(公益財団法人東京財団・研究員兼政策プロデューサー) 師岡慎一(早稲田大学理工学術院・特任教授)
16:55～17:00	閉会挨拶 勝田正文(早稲田大学理工学術院環境・エネルギー研究科長・教授)

\*プログラムは予告なく変更の可能性があります。

4. 問い合わせ先：日本生命財団・ニッセイ財団ワークショップ事務局 Tel. 06-6204-4013 Fax. 06-6204-0120